

2023年10月20日 全6頁

Indicators Update

2023年9月全国消費者物価

物価の上昇ペースは今後も徐々に鈍化へ

経済調査部 シニアエコノミスト 久後 翔太郎
エコノミスト 中村 華奈子

[要約]

- 2023年9月の全国コアCPI（除く生鮮食品）は前年比+2.8%となった。全国新コアコアCPI（除く生鮮食品、エネルギー）は同+4.2%であった。いずれも前月から伸び率が縮小した。
- 全国コアCPIの前年比の動きを財・サービス別に見ると、耐久消費財、半耐久消費財、非耐久消費財（除く生鮮食品、エネルギー）、エネルギーの伸び率はいずれも縮小した。サービスは前月から横ばいだった。財を中心としてピークアウトの動きが見られる。
- 先行きの全国新コアコアCPIの水準は上昇が続くとみている。2023年春闘での賃上げ率の高まりを受けて、賃金上昇率と連動性の高いサービス物価は基調としては上向きを維持している。企業の価格設定行動が足元で積極化しており、賃上げによる投入コストの増加分を販売価格に転嫁する動きが一段と加速する可能性がある。

9月CPI：物価の上昇ペースは鈍化

2023年9月の全国コアCPI（除く生鮮食品）は前年比+2.8%となった（**図表1**）。全国新コアCPI（除く生鮮食品、エネルギー）は同+4.2%と、いずれも前月から伸び率が縮小した。後述する通り、財を中心としてピークアウトの動きが見られる。

CPIの持つ歪み（上方バイアス）が抑えられた連鎖方式の指数（季節調整値）で物価の推移を確認すると、新コアコアCPIは前月比+0.1%（年率換算+1.1%）となった。このところ年率換算で2%を上回る上昇ペースを維持していたが、9月に関してはそれを下回る結果であった。

図表1：消費者物価指数（前年比、%）

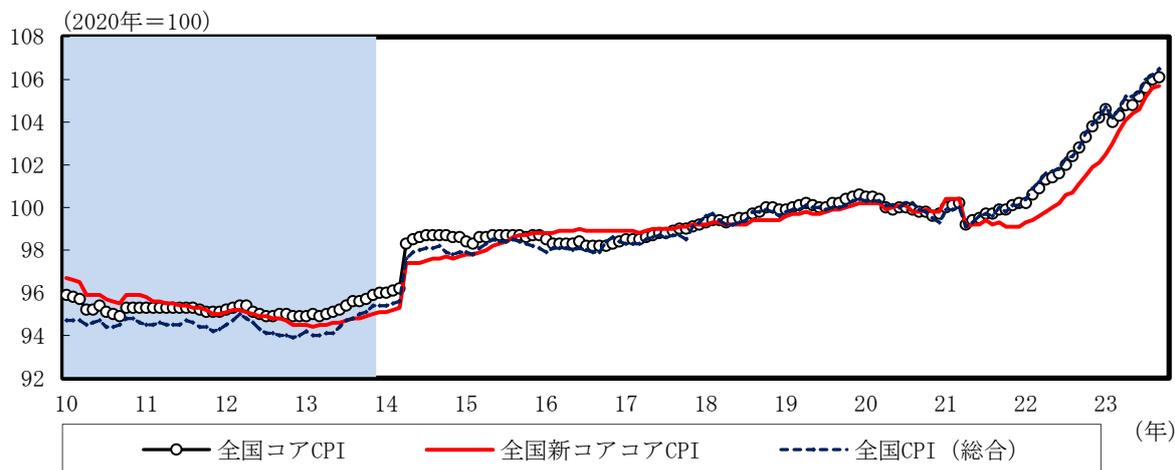
	2023年								
	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
全国コアCPI	3.1	3.1	3.4	3.2	3.3	3.1	3.1	2.8	
コンセンサス								2.7	
DIR予想								2.7	
全国新コアコアCPI	3.5	3.8	4.1	4.3	4.2	4.3	4.3	4.2	
東京都区部コアCPI	3.3	3.2	3.5	3.1	3.2	3.0	2.8	2.5	
新コアコアCPI	3.1	3.4	3.8	3.9	3.8	4.0	4.0	3.9	

（注1）コンセンサスはBloomberg集計。

（注2）コアCPIは生鮮食品を除く総合、新コアコアCPIは生鮮食品及びエネルギーを除く総合。

（出所）総務省「消費者物価指数」、Bloombergより大和総研作成

図表2：全国CPIの水準（季節調整値、ラスパイレス連鎖基準方式）



（注1）全国コアCPIは生鮮食品を除く総合、全国新コアコアCPIは生鮮食品及びエネルギーを除く総合。

（注2）シャドーは政府の「月例経済報告」においてデフレである旨の記載があった時期。

（出所）総務省「消費者物価指数」、内閣府資料より大和総研作成

財価格の伸び率はいずれも低下、サービスの伸び率は前月から横ばい

コア CPI の前年比の動きを財・サービス別に見ると（**図表 3、4**）、耐久消費財と半耐久消費財、非耐久消費財（除く生鮮食品、エネルギー）のいずれもプラス幅が縮小した。エネルギーのマイナス幅は拡大した。サービスは前月から横ばいだった。

耐久消費財では、電気洗濯機（洗濯乾燥機）（8月：前年比▲5.1%→9月：同▲26.5%）のマイナス幅が拡大したほか、電気洗濯機（全自動洗濯機）（8月：同+25.9%→9月：同+3.5%）のプラス幅が縮小した。

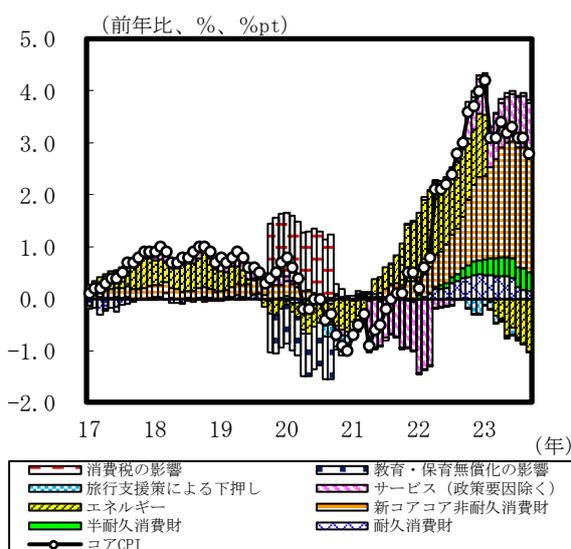
半耐久消費財では、自動車タイヤ（8月：前年比+7.7%→9月：同+4.9%）やトレーニングパンツ（8月：同+14.9%→9月：同+7.0%）のプラス幅が縮小し、ゴルフクラブ（8月：同+1.1%→9月：同▲10.1%）の伸び率がマイナスに転じた。

非耐久消費財（除く生鮮食品、エネルギー）では、ペットトイレ用品（8月：前年比+17.1%→9月：同+1.6%）や柔軟仕上げ剤（8月：同+12.4%→9月：同+2.7%）などのプラス幅が縮小した。

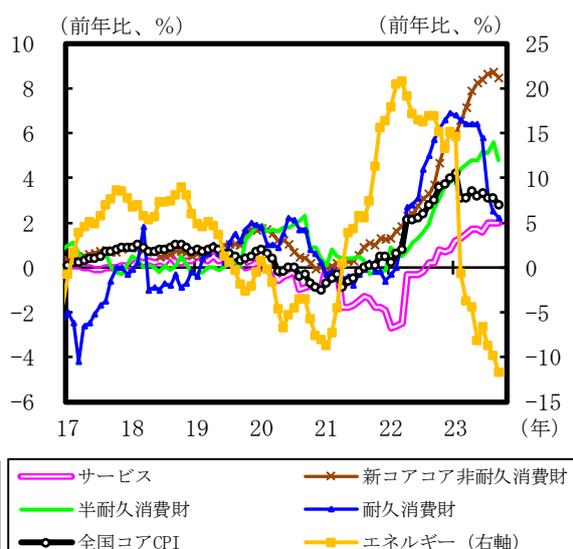
エネルギーでは、ガソリン（8月：前年比+7.5%→9月：同+8.7%）などのプラス幅は拡大した一方、電気代（8月：同▲20.9%→9月：同▲24.6%）や都市ガス代（8月：同▲13.9%→9月：同▲17.5%）のマイナス幅が拡大し、全体を押し下げた。いずれも比較可能な1971年1月以降で最大の下落率だ。燃料価格下落の影響が遅れて現れたことが背景にある。

サービスでは、下水道料（8月：前年比+1.1%→9月：同+2.6%）などのプラス幅が拡大した一方、宿泊料（8月：同+18.1%→9月：同+17.9%）のプラス幅は縮小した。

図表 3：全国コア CPI の前年比と寄与度



図表 4：全国コア CPI の内訳



（注1）左図の消費増税、教育・保育無償化、旅行支援策（Go Toトラベル事業、全国旅行支援）の影響は大和総研による試算値。

（注2）全国コアCPIは生鮮食品を除く総合、新コアコア非耐久消費財は生鮮食品及びエネルギーを除く非耐久消費財。

（出所）総務省「消費者物価指数」より大和総研作成

先行き：賃金上昇率の高まりなどにより物価水準は上昇を維持する見込み

先行きの全国新コアコア CPI の前年比は徐々に縮小していくが、水準は上昇が続くとみている。

帝国データバンクの価格改定動向調査によると、2023年10月には酒税引き上げの影響により酒類や飲料を中心に約4,600品目の値上げが行われた。原材料高を主因とした値上げは一旦落ち着きを見せているが、物流費や包装資材価格などの上昇は続いている¹。2024年以降も値上げは断続的に行われるだろう。

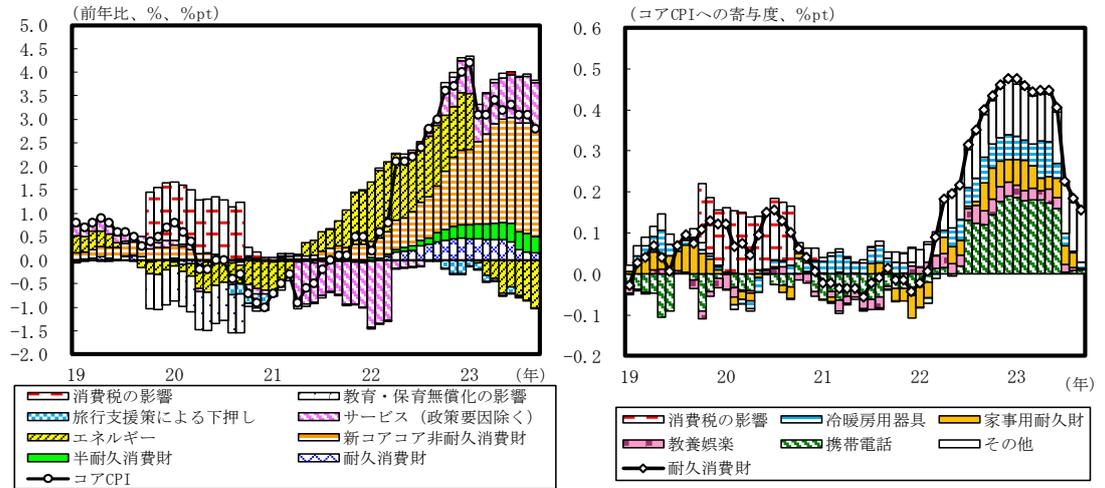
エネルギーでは、東京電力など電力大手7社による規制料金の値上げが物価の押し上げ要因となっている。さらに、2023年9月にはガソリン価格（全国平均、レギュラー）が1リットル当たり186.5円と、過去最高値を更新した。一方、2023年9月末での終了が予定されていた「燃料油価格激変緩和補助金」は、同年末までの延長が決定している。加えて、「電気・ガス価格激変緩和対策事業」も同年末までの延長が決定した。これらの政策は先行きの物価の押し下げ要因となるだろう。もっとも、物価高対策が終了すると、裏の影響によって前年比ベースのインフレ率を押し上げる要因となり得ることには留意が必要だ。

2023年春闘での賃上げ率の高まりを受けて、賃金上昇率と連動性の高いサービス物価は基調としては上向きを維持している。人手不足が深刻化する中、賃上げによって労働力を確保する動きが強まっている。企業の価格設定行動も足元で積極化しており、労働投入コストの増加分を販売価格に転嫁する動きが一段と加速する可能性がある。

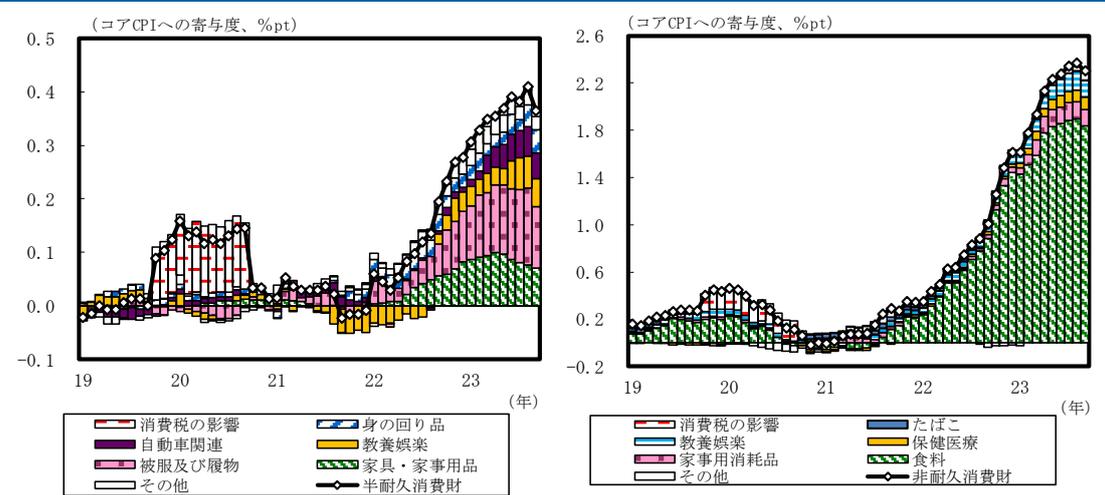
¹ 詳細は帝国データバンク「[『食品主要195社』価格改定動向調査—2023年10月](#)」（2023年9月29日）を参照。

財・サービス別に見たコアCPIの動き

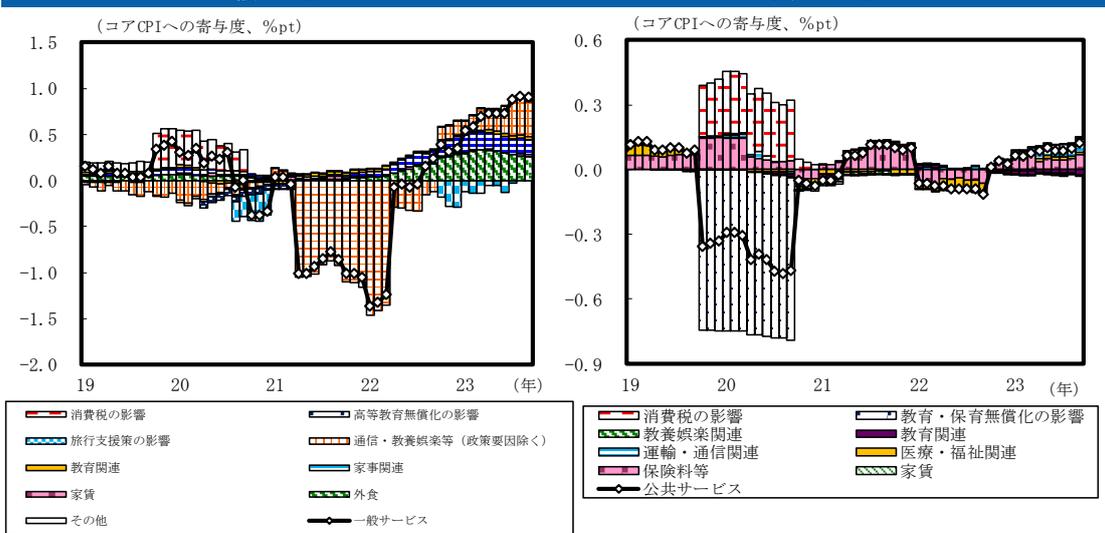
全国コアCPIの財・サービス別寄与度分解



半耐久消費財



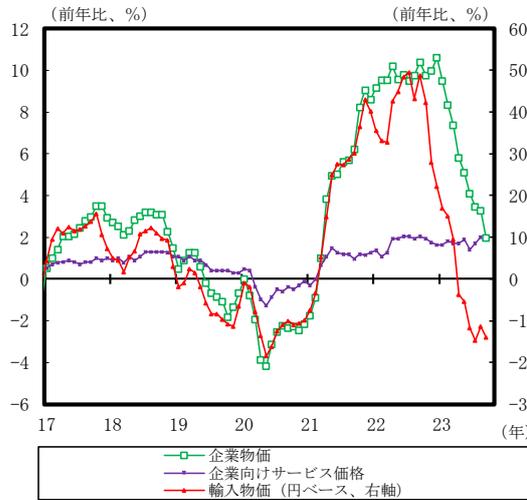
一般サービス



(注1) コアCPIは生鮮食品を除く総合、新コアCPI非耐久消費財は生鮮食品及びエネルギーを除く非耐久消費財。
 (注2) 消費増税、幼児教育・保育・高等教育無償化、旅行支援策 (Go Toトラベル事業、全国旅行支援) の影響は大和総研による試算値。試算の都合上多少の誤差が存在する。
 (注3) 高等教育無償化に関して、国公立大学授業料は公共サービスに、それ以外は一般サービスに含まれる。
 (注4) 「政策要因」には携帯電話通信料引き下げの影響は含まない。
 (出所) 総務省「消費者物価指数」より大和総研作成

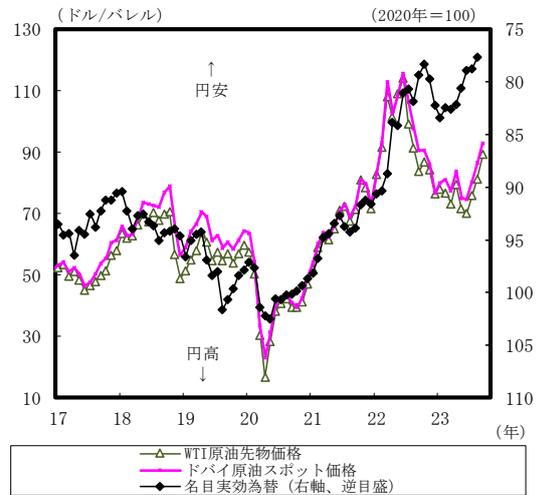
他の関連指標の動向

輸入物価と企業向け価格



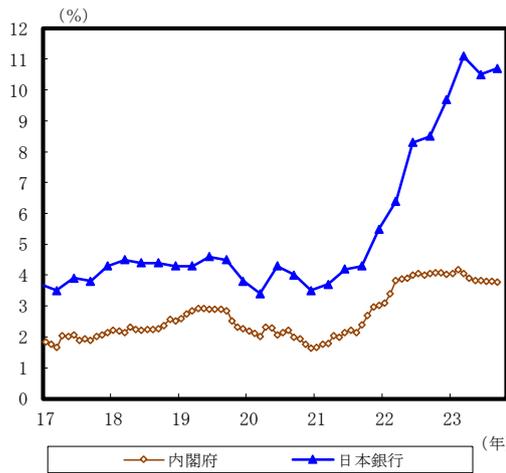
(注) 企業物価、企業向けサービス価格は消費税を除くベース。
 (出所) 左図は日本銀行、右図は日本銀行、Bloombergより大和総研作成

名目実効為替と原油価格



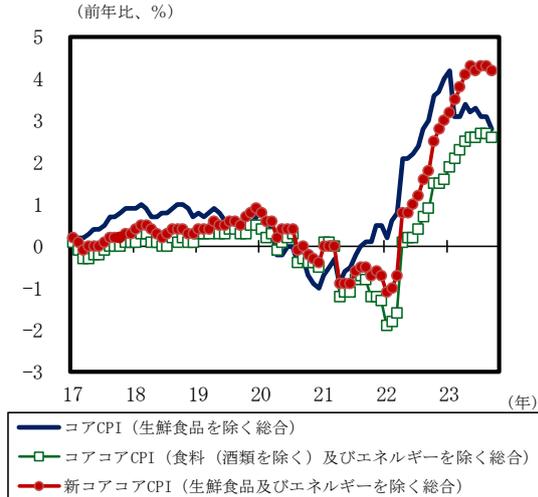
(注) 企業物価、企業向けサービス価格は消費税を除くベース。
 (出所) 左図は日本銀行、右図は日本銀行、Bloombergより大和総研作成

家計の期待インフレ率 (1年先)



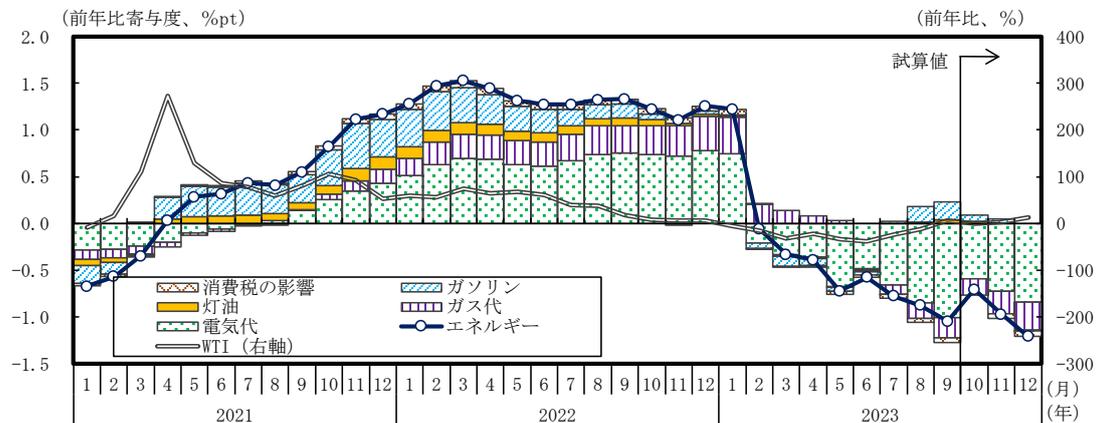
(注1) 内閣府の期待インフレ率は消費税の影響を含む、日本銀行は含まない。
 (注2) 内閣府と日本銀行の期待インフレ率のいずれにおいても上方バイアスがあるため、方向や相対的な水準で評価する必要がある。
 (出所) 左図は内閣府、日本銀行、右図は総務省「消費者物価指数」より大和総研作成

CPI (コア・コアコア・新コアコア)



(注1) 内閣府の期待インフレ率は消費税の影響を含む、日本銀行は含まない。
 (注2) 内閣府と日本銀行の期待インフレ率のいずれにおいても上方バイアスがあるため、方向や相対的な水準で評価する必要がある。
 (出所) 左図は内閣府、日本銀行、右図は総務省「消費者物価指数」より大和総研作成

エネルギー価格のコアCPIへの影響とその見直し



(出所) 総務省「消費者物価指数」、財務省、日本銀行、EIA、CME、Haver Analyticsより大和総研作成